

# オピオイド誘発性便秘治療薬

平成 30 年 1 月 10 日作成 長良店

オピオイド鎮痛薬が 中程度～高度の疼痛管理に処方される事が薬局でも よくあります。

効果の高い薬ではありますが、眠気・悪心・嘔吐・便秘等が出やすい薬でもあります。

その中の便秘に、今までの便秘薬とは全く違う作用方法で効果があるという事で発売されました。

スインプロイク錠は、消化管のオピオイド受容体に結合し、オピオイド鎮痛薬に桔梗することにより OIC を改善します。

多くのオピオイド鎮痛薬（モルヒネ、オキシコドン、フェンタニル等）の鎮痛作用は主に中枢の  $\mu$  オピオイド受容体を介して発現します。スインプロイクは、モルヒナン骨格を有する化合物であり、血液脳関門の透過性を低下させること等を目的として側鎖が付加されています。スインプロイクは、中枢におけるオピオイド鎮痛薬の作用は阻害しにくいようにデザインされた末梢性  $\mu$  オピオイド受容体拮抗薬です。

オピオイド鎮痛薬を服用されることになった患者様にスインプロイク錠 0.2mg（一般名：ナルデメジントシル酸塩）が処方されたので報告します。

N.W さん 76 歳 女性

H. 28. 7. 8

- マグミット錠 330mg 3T 分 3 毎食後 12 日分
- オキシコンチン錠 5mg 1T 分 1 朝食後 1 2 日分
- オキノーム散 2.5g 1 包 疼痛時 20 回分

便秘になりました。  
吐き気は、ない。

H. 28. 7. 15

- スインプロイク錠 0.2mg 1T 分 1 朝食後 6 日分
- オキノーム散 2.5g 1 包 疼痛時 20 回分

吐き気はないが、腹痛と便秘あり

H. 28. 8. 18

- センノサイド錠 12mg 2T 分 1 就寝前 14 日分

H. 28. 8. 28

- ツマ建中湯 15g 毎食前 8 日分

便秘続いている。

H. 28. 8. 30

- スインプロイク錠 0.2mg 1T 分 1 朝食後 10 日分

便秘ひどいです。

H. 28. 9. 16

- ビオスリー 3T 分3 毎食後 1 4 日分
- スインプロイク錠 0.2mg 1T 4回分 便秘時

便秘の薬を飲むと、下痢になってしまう事あり。

便秘を、上手くコントロールするのは、なかなか難しいようです。

H. 28. 8. 18 以降の処方、便秘に関する薬剤のみ記載しました。

OIC : opioid-induced constipation(オピオイド誘発性便秘症)

#### OIC の定義, 既存治療法

2016 年に Rome 委員会\*により OIC の診断基準が発表されました。

その中で、OIC の定義は以下の通りに紹介されています。

#### OIC の定義

オピオイド治療開始時, 排便の習慣やパターンに以下の変化が現れること。

- 排便頻度の低下
- いきみを伴うようになる／より強いいきみを伴うようになる
- 残便感
- 排便習慣に苦痛を感じる

#### これまで OIC 治療に使用されてきた薬剤

分類	浸透圧性下剤	大腸刺激性下剤	クロライドチャンネル アクチベーター	オピオイド誘発性便秘
作用機序	腸管内腔の浸透圧を高めることにより便を軟らかくする	蠕動運動を促進する	腸管内への水分分泌を促進することにより、便を軟らかくする	末梢性 $\mu$ オピオイド受容体に拮抗する
一般名	酸化マグネシウム、ラクツロース など	センナ, センノシド, ピコスルファートナトリウム, ビサコジル など	ルビプロストン	ナルデメジントシル酸塩
薬価	マグミット錠 330mg 5.6 円	ラキソバロン錠 2.5mg 8.6 円	アミティーザカプセル 24 $\mu$ g 161.1 円	スインプロイク錠 0.2mg 272.1 円